

# ラップサイディング+ロングライフシールの経済性

## 長期にわたってメンテナンスコストを抑える

ハイブリッドコートFによる塗り替え回数の低減化でメンテナンスコストを抑制。東レ建材の【15年保証品】は、美観を維持しながら、経済的なメリットを追求した高性能商品です。\*無塗装品を除く。

### コスト抑制、「凝集破壊・白化」15年保証のロングライフシール

東レ建材は、メンテナンスコストの軽減に向けてあらゆる開発に取り組んでいます。外装材に欠かせないシーリング材では、長期にわたってシーリングの表面クラックや褪色が起こりにくい「ロングライフシール」を開発。ロングライフシールとハイブリッドコートFとの組み合わせで、外観を長持ちさせ、長期的なメンテナンスコストを軽減します。



ロングライフシールの「凝集破壊・白化」15年保証  
ロングライフシールの15年保証は対象商品との同時使用が条件になります。  
\*無塗装品を除く

### ロングライフシールの特長

#### 高耐久性

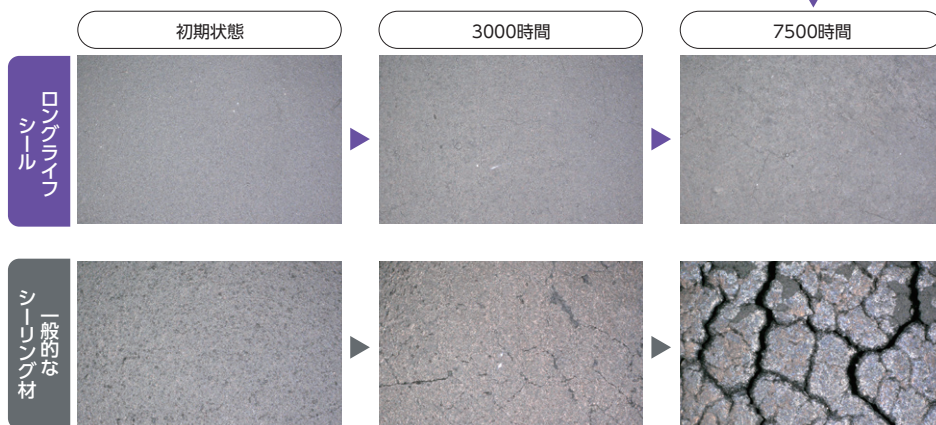
長期にわたって表面クラックが発生しにくく、色褪せしにくいので、新築当初の外観が保たれます。

初期状態とほとんど変わりません。

#### シーリング材の促進耐候性試験

促進耐候性試験 (JIS A 1415 サンシャインウェザーメーター試験)

\*施工場所、使用条件によって異なりますが、一般的に250時間が屋外約1年に相当します。



### 住宅の長寿命化は、正しいメンテナンススケジュールから。

太陽光(紫外線)、雨水、風雨などの自然環境の条件や、施工後のメンテナンス状況により、サイディング本体の耐久年数に大きな影響が出ます。住宅性能の劣化を防ぎ、また美観を維持するためにも、板本体およびシーリングなどの定期的なチェックをお勧めします。

- 定期点検は住宅会社様のメンテナンススケジュールに沿って行ってください。また張り替えの場合は、専門家による下地を含めた診断が必要です。
- 建物の立地(地域、環境条件)や、使用条件によってメンテナンス時期は異なります。メンテナンス計画の目安としてご活用ください。
- 日常点検、および5年毎の定期点検により、シーリングに部分的な目地やせ、剥離、亀裂、汚れなどの傷みが見られた場合は、状況に応じて部分補修や洗浄を行ってください。また外壁材本体に部分的な亀裂(クラック)、欠け、こすれ傷などが見られた場合は、パテ補修や部分的な張り替え、塗装などの補修を行ってください。
- 塗り替えについては、一般的なアクリルシリコン塗料を使用した場合を想定しています。

#### メンテナンススケジュールの比較

新築		5年	10年	15年	20年	25年	30年
点検	日常点検	初期点検	地震、台風後他、年に一回程度実施				
	定期点検	●	●	●	●	●	●
外壁材本体	ハイブリッドコートF			クリアー塗り替え*1		クリアー塗り替え*1	
シーリング	ロングライフシール						打ち替え
	一般的なシーリング	部分補修*2		部分補修*2		部分補修*2	

\*1 状況に応じ張り替え \*2 劣化状況により打ち替え